

沖縄労働局発表
 令和3年11月30日(火)

担 当	厚生労働省 沖縄労働局 職業安定部
	部 長 大 山 徹
	職業安定課長 知 念 照 二
	電 話 098-868-1655

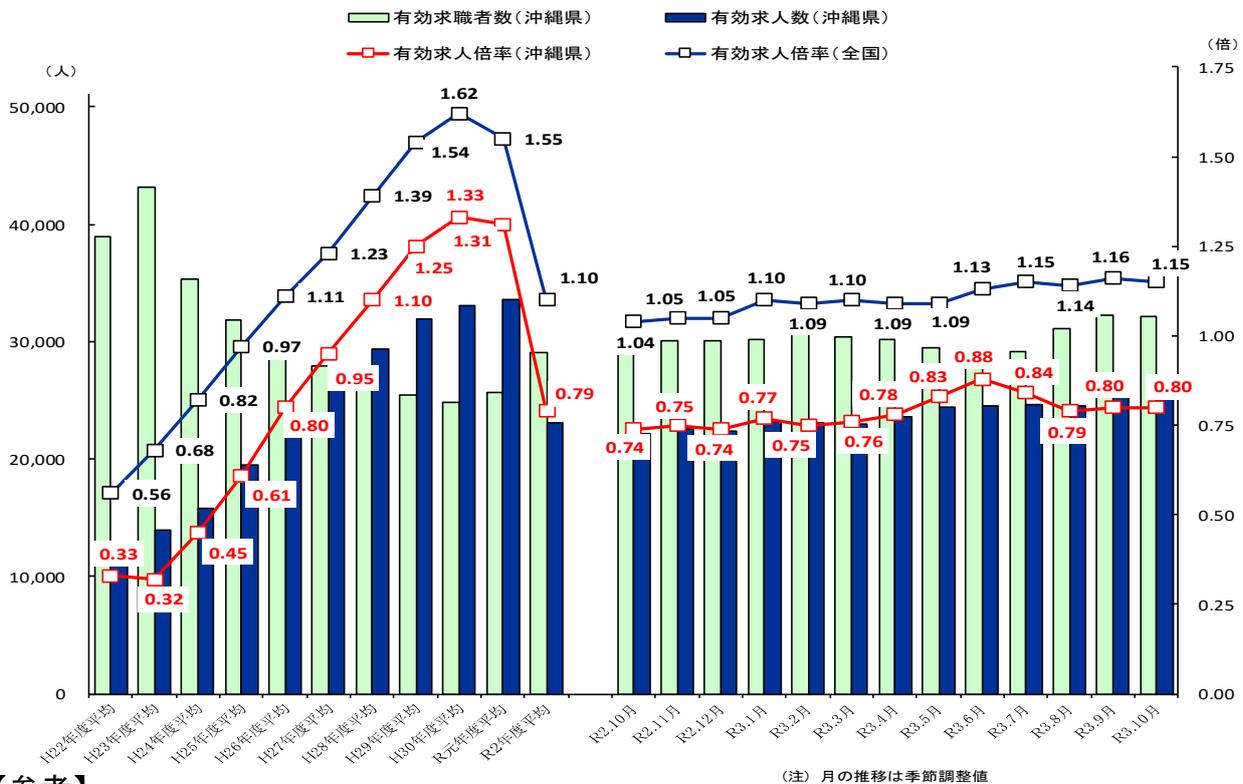
「労働市場の動き」令和3年10月

沖縄の雇用情勢は、求職の超過が続いており、厳しい状況にある。新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に注意する必要がある。

【就業地別】

- 有効求人倍率(季節調整値)は0.80倍で、前月と同水準。
- 新規求人倍率(季節調整値)は1.53倍で、前月より0.08ポイント低下。
- 正社員有効求人倍率(原数値)は0.50倍で、前年同月より0.06ポイント上昇。

求人、求職及び有効求人倍率の推移



【参考】

●令和3年10月の沖縄県の完全失業率(季節調整値)は2.4%で前月より0.8ポイント改善。

(注) ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で「求職者マイページ」を開設した求職者数や、ハローワークインターネットサービスで探した求人に直接応募する「オンライン自主応募」による就職件数等が含まれている。

1. 有効求人倍率・新規求人倍率の動き【就業地別】

(1) 有効求人倍率

有効求人倍率(季節調整値)は0.80倍で、前月と同水準。

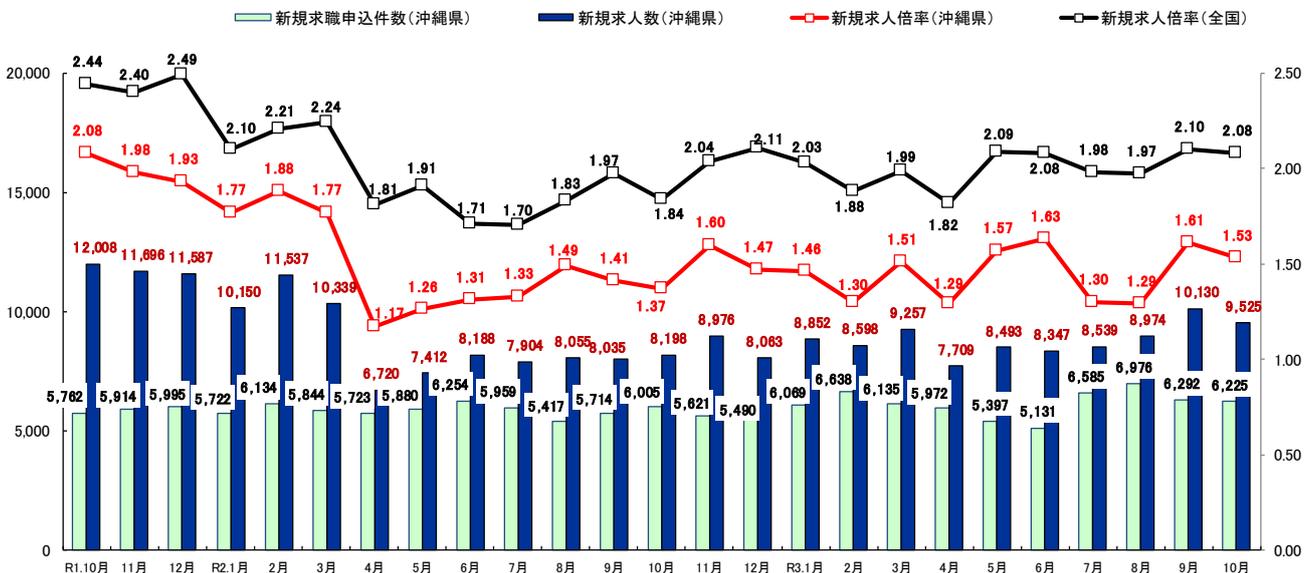
- ①月間有効求人数(季節調整値)は25,798人で、前月比0.3%増(74人増)となった。
 - ②月間有効求職者数(季節調整値)は32,200人で、前月比0.1%減(31人減)となった。
 - ③正社員の有効求人倍率(原数値)は0.50倍と前年同月より0.06ポイント上昇となった。
- ※有効求人倍率等の推移に関するグラフは1ページ目に掲載しております。

(2) 新規求人倍率

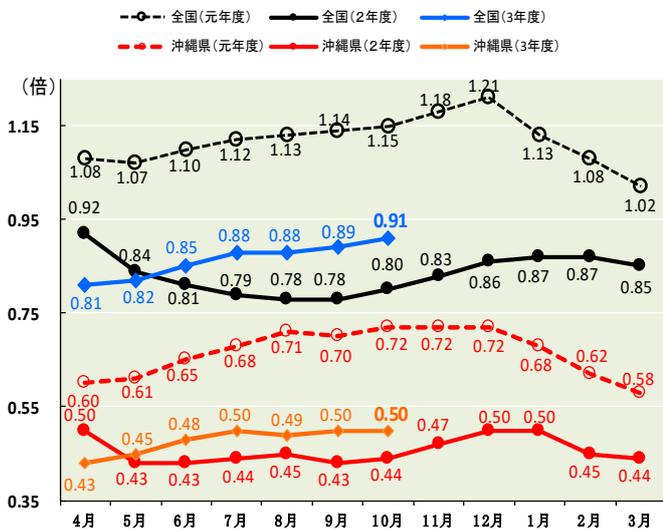
新規求人倍率(季節調整値)は1.53倍で、前月より0.08ポイント低下。

- ①新規求人数(季節調整値)は9,525人で、前月比6.0%減(605人減)となった。
- ②新規求職申込件数(季節調整値)は6,225件で、前月比1.1%減(67件減)となった。

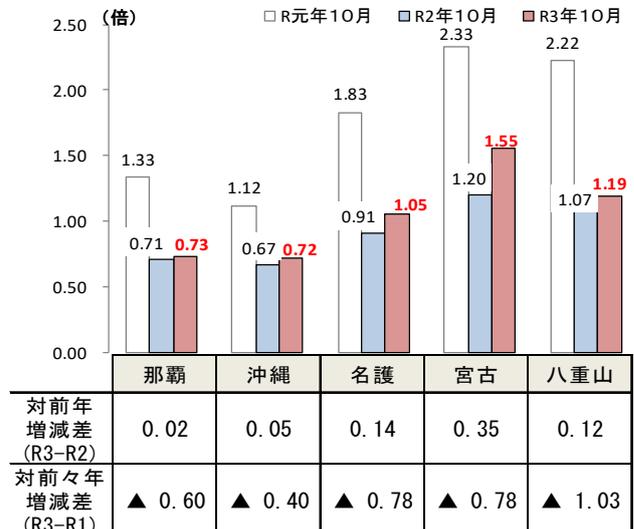
新規求人倍率の推移 (季節調整値)



正社員有効求人倍率の推移(原数値)



ハローワーク別有効求人倍率(全数・原数値)



2. 求人の動き【就業地別】

(1) 月間有効求人数について

月間有効求人数(原数値)は24,983人で、前年同月比15.3%増(3,316人増)と6か月連続の増となった。うち常用求人は22,405人で、前年同月比15.3%増(2,965人増)となった。

(2) 新規求人数について

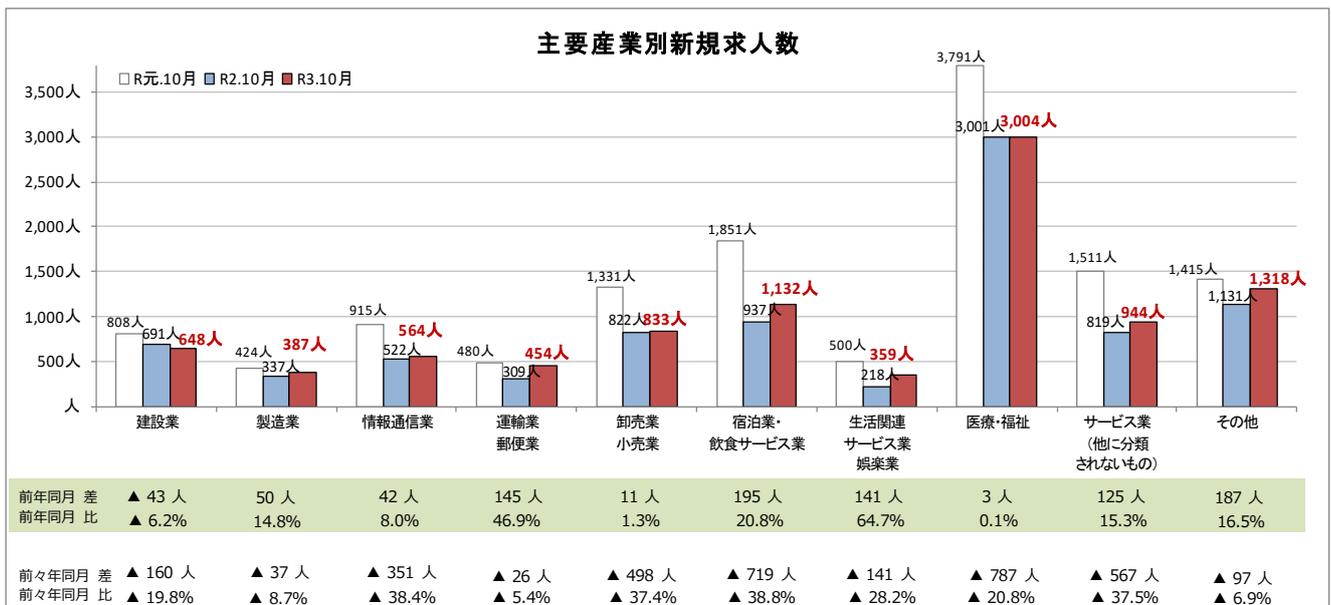
新規求人数(原数値)は9,643人で、前年同月比9.7%増(856人増)と7か月連続の増加となった。うち常用求人(雇用期間が4か月以上の求人)は8,484人で8.4%増(661人増)となった。主要産業別に前年同月比で見ると、増加率が大きい順に、生活関連サービス業・娯楽業64.7%増、運輸業・郵便業の46.9%増、宿泊業・飲食サービス業の20.8%増、サービス業(他にされないもの)15.3%増。一方、減少率が大きいものは、建設業の6.2%減となった。

(3) 正社員求人数について

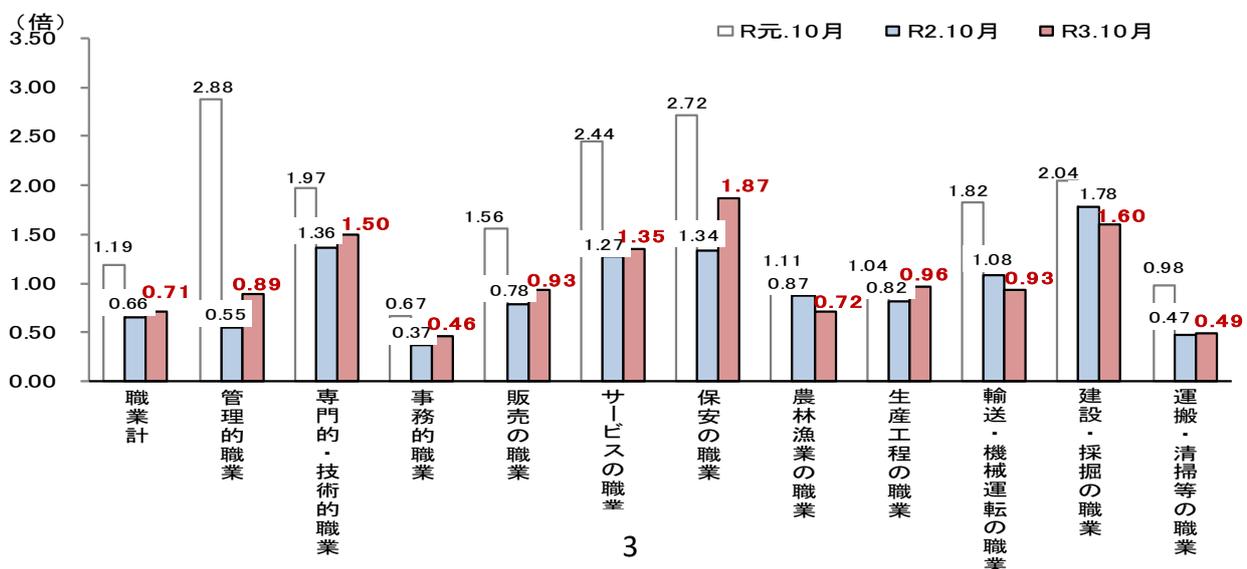
正社員新規求人数は3,736人で、前年同月比12.8%増(425人増)と7か月連続の増加となった。新規求人数に占める正社員求人の割合は38.7%で、前年同月比で1.0ポイント上回った。正社員有効求人数は9,756人で、前年同月比16.0%増(1,345人増)と7か月連続の増加であった。

(4) パートタイム求人について

新規求人数(原数値)は3,356人で、前年同月比7.0%増(221人増)となり、月間有効求人数は8,147人で、前年同月比10.9%増(804人増)となった。



職業別有効求人倍率(常用・原数値)



3. 求職の動き

(1) 月間有効求職者の状況

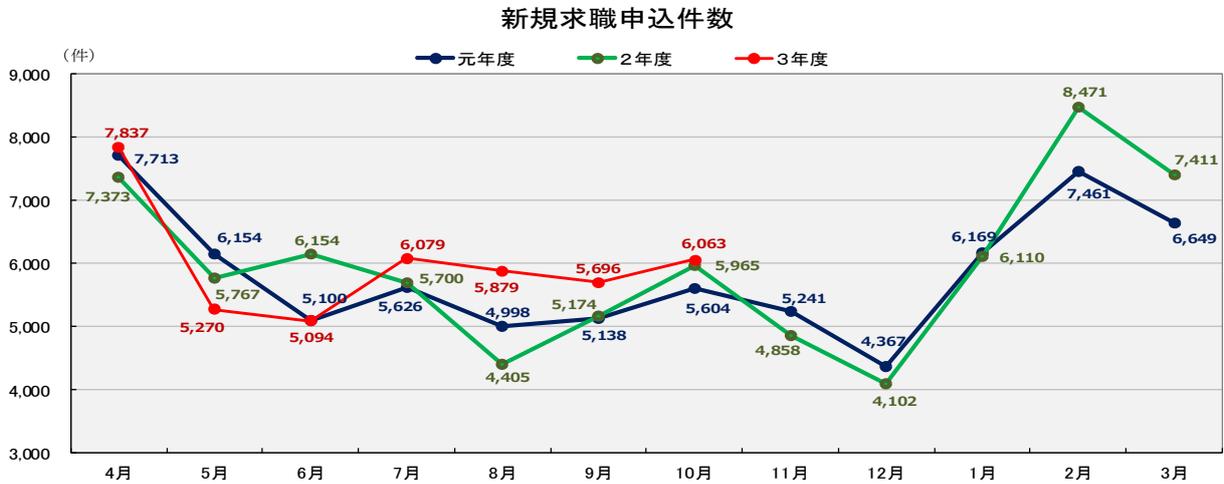
月間有効求職者数(原数値)は31,691人で前年同月比7.1%増(2,099人増)と34か月連続の増加となった。そのうち常用は31,436人で、前年同月比6.7%増(1,986人増)と33か月連続の増加となった。また、臨時・季節を希望する求職者は255人で、前年同月比79.6%増(113人増)となった。

(2) 新規求職申込みの状況

新規求職申込件数(原数値)は6,063件で、前年同月比1.6%増(98件増)と4か月連続の増加となった。うち常用(雇用期間が4か月以上の職業紹介を希望する者)は6,018件で、前年同月比1.4%増(83件増)と4か月連続の増加となった。また、臨時・季節は45件で、前年同月比50.0%増(15件増)となった。

(3) 雇用保険受給者の状況

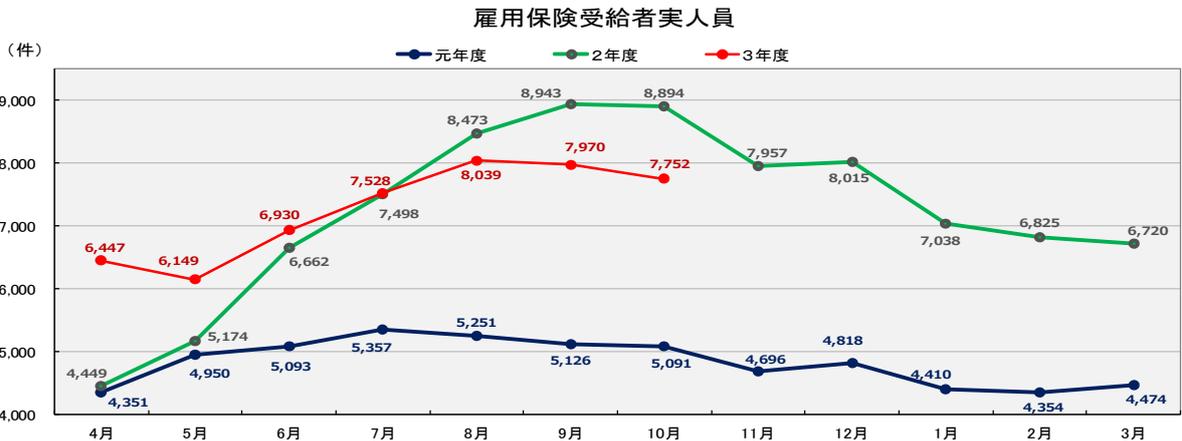
雇用保険受給者実人員は7,752人で、前年同月比12.8%減(1,142人減)となった。



新規求職者申込件数(常用)の状況について (単位:件%)

	新規求職申込件数(常用)合計	前年同月比	就業・不就業の状態別									
			在職者		離職者		うち事業主都合		うち自己都合		無業者	
			前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比		
令和2年10月	5,935	6.2	1,336	8.4	4,011	5.3	1,292	30.9	2,549	▲ 3.2	588	7.1
令和3年9月	5,653	9.8	1,703	41.8	3,410	▲ 0.8	829	▲ 17.3	2,316	2.6	540	5.9
令和3年10月	6,018	1.4	1,750	31.0	3,723	▲ 7.2	1,047	▲ 19.0	2,437	▲ 4.4	545	▲ 7.3

※相対値(%)は、パート・アルバイトを含む。



4. 就職の動き

(1) 就職件数について

就職件数は、1,430件(常用及び臨時・季節を合わせた総数)で、前年同月比8.5% (133件減)と3か月ぶりの減少となった。

(2) 県内就職について

県内就職は1,309件(就職件数全体に占める割合:91.5%)で、前年同月比10.7%減 (157件減)と3か月ぶりの減少となった。

(3) 県外就職について

県外就職は121件(就職件数全体に占める割合:8.5%)で、前年同月比24.7%増(24件増)と3か月連続の増加となった。

5. ハローワークにおけるマッチング結果

令和3年10月末時点の沖縄県内の各ハローワークでの職業紹介業務のうち、就職件数、充足件数は下表のとおりとなりました。

	沖縄労働局全体		各ハローワークの実績(月間)				
	累計(4月~10月)	実績(月間)	那覇	沖縄	名護	宮古	八重山
就職件数(常用)	10,056 (0.1%)	1,333 (▲ 8.2%)	586 (▲ 9.0%)	450 (▲ 6.3%)	154 (▲ 6.1%)	80 (▲ 4.8%)	63 (▲ 21.3%)
充足件数(常用)	9,684 (▲ 1.7%)	1,265 (▲ 9.3%)	594 (▲ 9.2%)	411 (▲ 7.4%)	131 (▲ 10.9%)	69 (▲ 12.7%)	60 (▲ 15.5%)
雇用保険受給者の早期再就職件数(9月分)	3,990	493	246	173	34	13	24

※()内は対前年同月比。

トピックス1

「令和4年1月以降の雇用調整助成金の特例措置等について」

新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金・緊急雇用安定助成金、新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金について、原則的な措置は、令和4年3月末まで現行の助成率の特例を継続しつつ、日額上限の段階的な見直しを行います。但し、業況特例・地域特例は、令和4年3月末まで現行の日額上限・助成率の特例を継続します。
【資料1】

トピックス2

「障害者雇用チャレンジセミナー&精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」開催！

これから障害者雇用に取り組まれる事業主を対象に、取り組み事例や雇用上の工夫、事業主支援に関するオンラインセミナーを12月10日(金)に開催します。
また、精神や発達障害のある労働者の共に働く上での配慮などの理解を深めて頂くため、精神・発達障害者しごとサポーター養成講座を同時開催します。【資料2】

トピックス3

「もにす認定制度のオンライン説明会」開催！

障害者の雇用に関する取り組み等が優良な中小企業を認定する障害者雇用優良中小事業主認定制度(愛称:もにす認定制度)のオンライン説明会を12月15日(水)に開催します。
【資料3】

【参考】有効求人倍率・新規求人倍率の受理地別の数値について

(1) 有効求人倍率【受理地別】について

- ① 有効求人倍率(季節調整値)は0.74倍で、前月より0.01ポイント上昇。
- ② 月間有効求人数(季節調整値)は23,764人で、前月比0.5%増(112人増)。
- ③ 正社員の有効求人倍率(原数値)は0.45倍で、前年同月より0.06ポイント上昇。

(2) 新規求人倍率【受理地別】について

- ① 新規求人倍率(季節調整値)は1.39倍で、前月より0.11ポイント低下。
- ② 新規求人数(季節調整値)は8,648人で、前月比8.2%減(770人減)。

沖縄労働局では、有効求人倍率、月間有効求人数、新規求人倍率、新規求人数について、就業地別の数値で雇用情勢の説明を行っております。

就業地別と受理地別の違いは次のとおりです。

- ・就業地別：求人票に記載された就業場所をもとに、実際に就業する都道府県別に有効求人数(新規求人数)を集計して算出したもの。
- ・受理地別：求人を受理したハローワークが所在する都道府県別に有効求人(新規求人数)を集計して算出したもの。

なお、月間有効求職者数及び新規求職申込件数では、受理地別・就業地別の区分は行っておりません。これらの数値については、沖縄県内のハローワークにおいて、新規に受理された求職申込件数(新規求職申込件数)および有効中の求職者数(月間有効求職者数)を発表しております。

○本発表に関連するデータは、沖縄労働局ホームページでご覧になれます○

【掲載先】

沖縄労働局ホーム>統計情報>求人求職・労働市場の動き>統計情報>労働市場の動き

【URL】

https://jsite.mhlw.go.jp/okinawa-roudoukyoku/jirei_toukei/kyujin_kyushoku/toukei/koyounougoki.html



○政府統計ポータルサイト「e-Stat」のご案内○

求人数、求職者数など一般職業紹介状況の全国及び都道府県ごとのデータは、政府統計ポータルサイトe-Statにて提供しております。

【URL】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450222&tstat=000001020327>

